

# 令和6年度第1回香取市総合教育会議会議録

- 1 期 日 令和6年8月22日（木） 開会 午後3時  
閉会 午後3時50分
- 2 場 所 市役所4階庁議室
- 3 出席者 市長 伊藤友則  
教育長 堀越洋  
教育長職務代理者 熱田昇  
教育委員 芦田優子  
教育委員 伊藤博和  
教育委員 鳥次由紀子
- 4 傍聴者 あり
- 5 出席職員 教育次長 本宮茂幸  
教育総務課長 木内英子  
学校教育課長 高橋進  
生涯学習課長 伊藤教文  
生涯学習課副参事 菅生和代  
香取市学校給食センター所長 武田尚  
学校教育課学校教育班長 秋葉賢一  
学校教育課指導班長 園山力  
学校教育課指導班指導主事 遠藤恵美子  
学校教育課指導班指導主事 徳永義暢  
学校教育課指導班指導主事 椿琢磨  
教育総務課教育総務班長 大八木奈津子

6 開 会 定刻となりましたので、ただいまから、令和6年度第1回香取市総合教育会議を開会いたします。

教育総務課長

私は、本日の会議の司会進行を務めさせていただきます、教育総務課の木内と申します。よろしくお願いいたします。

なお、本会議は、香取市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、原則公開するものとなっており、非公開とすべき案件がないことから傍聴希望者の入室を許可しております。

また、本会議は会議録を作成し、市ホームページにて公表いたしますので、ご了承願います。

それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。  
最初に、会議の主催者である伊藤市長よりご挨拶をいただきます。

## 7 市長挨拶

皆さんこんにちは。

本日は令和6年度第1回香取市総合教育会議でございます。  
議題として学力向上の推進、後期教育振興基本計画などございます。これからの本市における教育の概要を皆様とともにしっかり議論していきたいと思っております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

教育総務課長

それでは、早速議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、香取市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長にお願いいたします。

## 8 議 題 議長(市長)

それでは、議事に入らせていただきます。

議題「学力向上推進について」、事務局から説明を求めます。

学校教育課長

学校教育課の高橋と申します。

私から「学力向上推進について」ご説明いたします。

昨年度の2月に行われた総合教育会議では、学力向上推進についてご説明いたしました。

その際は、全国学力学習状況調査の香取市の状況や、市内中学校の学力の課題として、読解力の向上についてお話しいたしました。

そして、読解力向上のための手立てとして「リーディングスキルテスト」をご紹介し、短時間での体験を行っていただくとともに、先行実施した1校の様子についてもご説明し、今後も継続的に学力向上の進捗についてご報告する旨申し上げたところです。

本日は、令和6年度の全国学力学習状況調査の速報結果及びそれを受けての市内の学力向上の取組につきまして、ご説明いたします。

画面をご覧ください。

先日7月29日に令和6年度の全国学力学習状況調査の速報結果が発表されました。

今回は、中学校の国語の平均正答率が昨年度よりも12ポイント近く下がったことやSNS利用の長時間化との関連性などが

新聞等で大きく報道されました。

結果について教科別に申し上げますと、国語では、「事実と感想、意見との区別が明確でない等、自分の考えを伝えるための書き表し方の工夫」や「自分の考えなどを記述していても、必要な情報を取り出すことや表現の効果を考えること」での課題が指摘されており、算数・数学では「図形や単位量当たりの大きさ（速さなど）について、深い理解を伴う知識の習得やその活用」や「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」などでの課題が指摘されています。

こうした傾向は香取市も同様であり、現在さらに細かな分析を進めています。

香取市での小中学校別の結果の概要は、資料1に掲載してございますが、主なものについては、レジュメ1ページ目にも箇条書きで掲載してございます。

小学校では、国語で無回答率が全国よりも低いといった点は、喜ばしいところです。結果は国語、算数ともに全国平均をやや下回っております。両教科とも特定の内容、領域で課題が見られていますので、重点課題としていきます。

中学校では、特に数学が昨年度に比べて平均正答率が伸び悩む結果でした。昨年度に引き続き、対策が急務となっています。

次に、リーディングスキルテスト関連につきまして、ご説明いたします。

「リーディングスキルテスト」は、読解力を6分野にわけ、テスト受験者の状態を細かく分析するとともに、向上のための方法を示すものです。冒頭申しあげましたように、昨年度市内1校で先行実施を行いました。

「リーディングスキルテスト」は、受検しただけでは学力は上がりませんが、一人一人の読解力の現状や改善の方策が示されます。実施校では、それを受け徹底して授業改善や指導改善を行ってきました。生徒一人一人のつまづきや理解しにくい箇所の明確化、教師のあいまいな指示の排除・改善、生徒の力を伸ばすため、線を引いたり指でさしたりする手立ての定着等を繰り返し行ってきました。

この先行実施校の全国学力学習状況調査の結果ですが、国語、数学ともに全国平均を超えています。

さらに、こちらは市内中学校の中で、昨年度の結果が実施校と同様であった2校の結果を表しています。

全国平均を1とした場合の各校それぞれの結果を表してお

り、1を超えていれば全国平均を超えているといった意味となります。

全国学力学習状況調査は、思考力、表現力がしっかりと問われる内容で、そちらで差がついたことに大きく注目しております。

現在の学力で求められているのは、主体的・対話的で深い学びであり、それには思考力・表現力が欠かせません。その思考力・表現力を問うテストでかなりの伸びが見られたことは大きな成果です。もちろんこのすべてが、リーディングスキルに起因するとは言えませんが、生徒一人一人が具体的に目標を持てたり、教員が明確な方策をもって指導に当たることができたことは、向上の一端となったことは疑いようがありません。

この「リーディングスキルテスト」は、今年度市内全中学校で実施すべく、9月補正予算の一つとして要求しておりますので、準備が整いましたら進めていきたいと考えます。

次に今後の取組についてですが、ただいま申し上げた「思考力・表現力」と関連させながらお話いたします。

ここでは、難しい話にならないように、より分かりやすく、楽しくするために、総合的な学習の時間の学習活動を例にします。

テーマは「名刺をつくり、活用しよう」といったもので、自分たちで名刺をつくり、活用していくといった活動です。この学習は流れが明確で、さまざまな学年へ応用していけるため、たくさんの実践例があります。

学習の内容としては、「名刺とは何か？」を調べ、載せる情報や渡す場面など基本的なことを調べる活動（活動1）や実際に名刺を作る活動や様々な場面で渡したり受け取ったりするといった活動（活動2）から構成されます。

活動1は「知識習得」であり、活動2は「知識」をもとにして学習をすすめる「知識基盤」の活動といった構成です。

冒頭申し上げた「思考力・表現力」ですが、この力は主に「知識基盤」の活動の中で発揮されることが多いと思います。活動2は、何色にしようか、趣味や特技も載せたら楽しいのではないか、英語にすれば外国の人にも渡せるといった「考える、形にする」ことを楽しむ段階であり、活動のメインの部分です。これはまさに「思考力・表現力」であり、私たちの日常もこうした「知識をもとに考えたり、形にしたりしていること」の繰り返しであります。

これが「思考力・表現力」が重視される所以であり、主体的・

対話的で深い学びの原動力と言えます。

ところで、読解力はこの中でどの部分に位置するのか、と考えるといかがでしょうか。基礎基本的な部分にあたる気もしますし、「思考力・表現力」とは別に並行して存在するようにも考えられなくもありません。これをしっかりと整理し、明らかにすることが学力向上の具体的手立てにもつながると考えます。今後の「学力向上推進委員会」のテーマの一つとして検証するとともに、より効果的な読解力の在り方を研究し、児童生徒のしっかりとした学習習慣の確立と教職員の授業づくりへの意識啓発等の実現にもつなげていきたいと考えております。

議長                    ただいまの説明について、委員の皆さまからご意見等あれば、お願いします。

委員                    資料1の中学校・数学の一番下の段で「記述式は全国平均を100とした場合、香取市が73となる結果であった」とありますが、この上の表の記述式の全国29.3を100に換算してということですね。このほかの数字も全国を上回っているものが少ないことに衝撃を受けました。成果はすぐには出ないと思いますが、読解力を中心とした記述式に力を入れている真っ最中という認識でよろしいでしょうか。

学校教育課長        はい。リーディングスキルテストで目標が明確化されます。こういうことをやったらいいのではと目標の手立ての明示も出ます。目標に向かってどれだけやれるかですが、実施校ではその点に力を入れてきたので、結果に結び付きました。それを全部の学校にどのように広げていくかが私たちの次の課題と考えております。

委員                    弱いところが見えているのは、目標を明確にしやすいですね。

教育長                一人一人の弱点がわかる、個表が出るんですよ。

委員                    過去問題があると思うのですが、学力試験の日程の1週間前とかに過去問題を解いてみるとかの取組みはあるのでしょうか。学校によって、やっている学校とやっていない学校があるのでしょいか。

学校教育課長        問題に慣れているという部分は大きく点数に結びつくので、過去問題の取組みは強力に推し進めていきたいと思っています。

す。

委員 即効性があると思いますので、よろしくお願いします。全部平均以下というのは残念です。

委員 定期テスト等を受けた後に、直すことで次に繋がっていくと思われませんが、間違い直しがなかなかできていないように感じます。学校の指導の中で、テストを見直すための先生方からの手助けがあると良いと思います。

学校教育課長 おっしゃるとおりで、テストが終わった後にどういう指導を加えるか、どう振り返りをさせるかというところは、教員一人一人の力量に問われる部分が多かったです。感覚的に終わらせてしまう教員もいましたし、系統立てて、弱かったところをみんなで作ろうという教員もいます。教員の力量アップということで、こちらも高めていきたいと思っています。

新たな改善策として、ICTです。香取市ではeライブラリというドリルのソフトがありまして、弱いところを繰り返しできる機能があります。ICTは、リカレントやリスキリングという学び直しという部分では強力に結び付けられるところがあり、手立てのひとつとして付け加えていきたいと考えております。

委員 そういったところで自学などが進めていけるといいですね。

委員 リーディングスキルテストを行った学校で効果が出ているのは素晴らしいと思いました。実際にテストを行った学校の先生方が全ての生徒の状況を理解して、それぞれの授業でその生徒ごとにアプローチをしていくということなのではないでしょうか。

学校教育課長 そうなります。一人一人の状況がわかりますので。全体的な特長も出ます。

教え方がよくなかったとか、こういう教え方では伝わっていないというように、教員自身を解せる部分もありました。教員にはショックでしたが、子どもたちにとってはプラスになるように働いたことが、とても大きな収穫でした。

委員 今回リーディングテストを受けたことで、先生方の指導が変わって、自分たちに上手に教えてくれたから自分たちの学校の学力が上がったということは、実施校の生徒たちは知っている

のですか。

学校教育課長 7月29日に結果が出たばかりで、夏休み中ですのでそこまでは伝えてません。

委員 生徒達も、教えてもらった自分たちは伸びるんだとわかれば自信となっていくと思うので、どんな形にしても頑張ったねとのフィードバックはしてもらいたいと思います。  
小学校は全校実施か挙手性かは決まっていますか。

学校教育課長 小学校には資料2のリーフレットを配布してありまして、読解力というテーマは変わりません。声に出して読むとか、線を引くというような具体的な方策を示して、少しずつ積み上げていく方針でいます。  
中学校は全学科・全校実施を予定していますが、小学校の実施については中学校の様子を見ながらと考えております。

委員 生徒さんそれぞれの特長があると思うのですが、教えるにあたって、先生方同士だけで話す場はあるのですか。

学校教育課長 学力向上推進の中で、今後の課題の一つになりますが、弱点がわかった後をどう進めていくかというところです。中学校の先生方から懸念される内容として、中学校は教科で動いているので、教科の壁をどう超えるかの課題になります。先生方での情報交換・共有がとても大事になってきますので、それを9月に各学校にお願いしようと思っています。

委員 教科ごとで先生が変わりますが、生徒はそういった目で見ないと思います。先生は先生で、皆さん一緒の立場の「先生」として見ているので、先生同士の壁のようなものがあると、中学生にもなると生徒は気付いてくると思います。そういった壁をなくして、生徒のために先生方も情報を共有しながら、進めていってもらえたらと思います。

議長 ほかにご意見、いかがでしょうか。貴重なご意見、ありがとうございました。  
こちらの学力向上推進につきまして、新たな切り口で取り組んでいながら、市としても積極的に支援していきたいと思えます。

議長

それでは、次の議題「後期教育振興基本計画について」に移ります。事務局から説明を求めます。

教育総務課長

教育総務課長、木内でございます。

私からは後期教育振興基本計画(案)について、ご説明いたします。

教育委員会では、香取市総合計画を上位計画として、その教育・文化分野について、計画的かつ総合的に教育行政を推進する必要があることから、令和2年度から10年間の教育指針となる「教育ビジョン」を策定し、併せて前期5年間に取り組む施策、事務事業を示した「前期教育振興基本計画」を策定し、取り組んで参りました。

今年度は、前期教育振興基本計画の最終年度となることから、令和7年度から後期5年間を計画期間とする「後期教育振興基本計画」を策定するものであります。

施策大綱の6つの柱、1から6までで、それぞれに取り組む施策につきましては、市総合計画の後期基本計画との整合性を図り、わかり易いものとするため、順番の入れ替えと文言の訂正を行っております。

6つの施策大綱概略を申し上げますと、1ページ目「施策大綱1 明日を拓く、人間力を育てる学校教育の推進」では、学習意欲の向上と確かな学力の定着を図るため、全国学力・学習状況調査結果を分析し、学習指導を工夫・改善して児童生徒の学習の向上を図ってまいります。

次に、12ページ「施策大綱2 教育施策推進のための環境整備」では、小中学校全校に無線LANのネットワーク速度の確保とともに、タブレット端末の機器更新と教職員数分の指導端末を導入するなどコンピュータやデジタル機器等の計画的な更新を進めてまいります。

また、安全・安心な施設環境の整備・充実である長寿命化改良事業の実施では、小見川北小学校の校舎を、本年度から設計及び積算業務を行い、改修工事を令和8年度から令和10年にかけて行ってまいります。

続きまして、19ページ「施策大綱3 次代を担う青少年の健全育成」では、学校・地域と連携しながら、青少年の健全育成活動を推進するとともに、青少年の非行防止活動を推進してまいります。

続きまして、22ページ「施策大綱4 ひらかれた生涯学習活動の振興」では、人生100年時代を見据え、年齢、性別、国籍、



障害の有無等にかかわらず、すべての人の学ぶ意欲を支える機会の充実を図ってまいります。

続きまして、25 ページ「施策大綱5 スポーツ活動の推進」では、中学校の部活動について、少子化の進行等により学校単位での活動を続けていくことは厳しい状況にあることから、休日は、地域クラブ活動に移行し、生徒が生涯にわたってスポーツに親しむ機会を確保できるよう地域移行の推進や、多様化するスポーツニーズに対応した各種スポーツ教室の充実を図り、各種スポーツ団体と連携して、高い指導技術や幅広い知識を有するスポーツ指導者の育成・確保を図ってまいります。

続きまして、29 ページ「施策大綱6 郷土を愛する心を育む文化の継承」では、国指定重要無形民俗文化財である佐原の山車行事で使用される用具類の保存修理の支援をすることで、正しい伝統芸能や祭事など後世に伝えていきます。また、他の無形民俗文化財についても保存・伝承活動を支援して参ります。

このような背景から、前期5年間の実績と課題を踏まえ、市の後期基本計画との整合性を図り、後期教育振興基本計画（案）を作成しております。

計画は、令和2年度からの10年間を通じて、香取市が目指すべき教育ビジョンに基づき、今後5年間に取り組む施策、事務事業を示した内容としており、前期に完了した事務事業を削り、今後、新たに取り組む事務事業を追加しましたが、主要事業のほとんどが継続して取り組む事業であり、基本的に前期計画を踏襲した構成・内容となっております。

また、後期教育振興基本計画は、市民協働により、各施策が推進できるよう、アクションプラン（行動計画）としての性格を持たせたつくりとしておりますので、施策ごとに迅速かつ的確な情報の収集・発信を図り市民の皆様の意見やニーズの把握・反映に努めます。

次に、後期教育振興基本計画の策定に際しては、広く市民の皆様からの意見を募集し、その意見を考慮するため、令和6年12月10日から令和7年1月15日の間、パブリックコメントの実施を経て、計画決定をして参ります。

以上で 後期教育振興基本計画（案）についての説明を終わります。

議長 　　ただ今の説明につきまして、皆さまからご意見等あればお願いいたします。

委員 　　2 ページ、施策の方向の⑤高等学校・大学等との連携促進で、4 ページに主要事業で「高等教育機関との連携促進」として千葉工業大学等の連携事業があるとのことですが、中学校と高等学校との人事交流は、実際にはどのような形で行っているのでしょうか。

学校教育課長 　　中学校の教員が高校に異動して、そちらで教えるという人事交流です。

委員 　　子供同士が交わるということではないのですか。

学校教育課長 　　人事交流といった場合は教職員のことを指しています。部活動での交流といったものは行っております。

教育長 　　今、行われているかどうかわかりませんが、「お兄さんお姉さんから学ぼう」という高校生が小学校で授業をしたり、水泳部が水泳を教えたりといった交流活動がありましたね。今はどうなんでしょう。

学校教育課長 　　コロナの前までは毎年行っていました。

委員 　　では人事交流というのは先生方のものなんですね。

10 ページ、施先の内容の①グローバルに活躍する人材の育成で、中学校の国際交流事業ですが、コロナになってから海外に行くことがなくなっていたがリモートで復活したので、そろそろ実際に行くことができないものかと。以前やっていたことの成果が上がらなかつたからなくなつたのかとも思うのですが、若いうちに海外に出るのは良いと思います。予算の都合もあるかと思いますが、いかがでしょうか。

学校教育課長 　　リモートが大変好評で、効果があがってきているというのが大きな理由です。リモートの良さは、距離的な問題が解決できると同時に、大勢の子達が参加できるというアドバンテージがあります。体験というと、どうしても人数が限られてしまいますし、経済的負担といった面でも以前実施できた時と掛かる費

用が全然違ってきます。円安の影響もあり、現実的な金額では実施できないところだと思います。今すぐにはなかなか難しく、クリアしなくてはならない課題であると考えています。

議長                   ほか、いかがでしょうか。

委員                   3 ページ、③読書活動の充実の事業の内容で、「学校司書の配置を推進し、読書活動の充実を図ります」とありますが、現在、学校司書が配置されている学校は既にあるのですか。

学校教育課長       3 校ございます。

委員                   佐原とか、小見川とかですか。

学校教育課長       大規模小学校の 3 校です。

委員                   20 ページ、②家庭・学校・地域と連携した青少年育成活動の充実について、主要事業で「通学合宿の開催」とありますが、すでに行っているのでしょうか。

生涯学習課長       通学合宿事業は小見川地区にある県立少年自然の家を活用して、県の事業として小見川・山田地区のお子さんたちを、市としましては佐原・栗源地区のお子さんたちを募集しまして、いろいろな地区の子たちが集まって、皆さんと一緒に勉強したり、生活をします。今年度も今募集を行っているところです。

議長                   ほか、いかがでしょうか。

委員                   同じく、通学合宿についてですが、何名くらい参加されているのでしょうか。

生涯学習課長       例年、30 名くらいを対象としております。ただ、今年度は私共でも懸念していることとして、ニュースでもありましたが、合宿で 2 段ベッドの上から落ちてかなり大きな怪我をしたという事案がありました。施設の使い方も含めて、気配り・目配りをしなくてはならないので、もう少し人数を抑えた方が良いのか検討しています。

実際には、市内の高校生のボランティアに来ていただいて、夜も見てもらおう形をとっていますが、安全面をしっかりとっていないといけないと考えています。

- 委員 どれくらいの期間なのでしょうか
- 生涯学習課長 短いのですが、2泊3日です。
- 委員 24 ページ、③文化・芸術活動の振興の主要事業で、「文化・芸術に触れる機会の提供」について、既に何か行っているのでしょうか。
- 生涯学習課長 市民文化祭の最終日に合わせて、千葉交響楽団をお招きして佐原文化会館で公演を行います。今年度はそのような事業を計画しております。
- 委員 各学校に回る事等は考えていないのでしょうか。子供の頃、学校に生の劇団が来て体育館で演劇を見たり、演奏を聴いたりしてとても感動しました。文化祭ですと香取市全体で考えた時に、子供だけで文化祭を見に来れるかということ、なかなか難しい状況かと思えます。
- 学校でしたら生徒達が足を運ばなくてもいいし、毎年でなくとも小学校6年間の中で1回でも構わないので、なにか生のものに触れられる機会があると良いのではと思いました。
- 27 ページ、③競技スポーツの推進の主要事業で、「トップアスリートによる講演会等の開催」とありますが、こちらはもう既に何か行われているのでしょうか。
- 生涯学習課副参事 トップアスリートではないのですが、今年、新規の事業として千葉ロッテマリーンズのコーチの方をお呼びして、スポーツ教室という形で実施する予定があります。
- 委員 それは広報等に掲載され、希望者が参加できるものですか。
- 生涯学習課副参事 ある程度人数が限られてしまいますので、今回はスポーツ少年団の野球の方に取りまとめをお願いしています。市内全域の募集まではかけられないです。
- 委員 野球は市内でいくつか団体があると思いますが、その中でひとつですか。
- 生涯学習課副参事 スポーツ少年団の方から声を掛けさせていただいています。

委員 野球をやっている市内の子たちは、団に入っていれば話が入ってくるということですね。

今年はロッテですが、毎年行おうと考えてますか。それとも5年間の中で一度だけですか。

生涯学習課副参事 今年が初めての試みなので、好評であれば、またほかの競技も検討していきたいと思います。

委員 生徒もプロの方と交わることはとても刺激になると思います。芸術にしてもスポーツにしてもそうだと思いますが、人との繋がりはどこでどう上手く開くかわからないので、なるべく継続的にいろいろスポーツでプロの方と携わって一緒にできる機会が増えれば良いと思います。

議長 ほか、いかがでしょうか。

委員 26 ページ、主要事業で「総合型地域スポーツクラブ等の育成」とありますが、これはこれからの話になるのですか。

生涯学習課副参事 前回の総合教育会議の際にもスポーツ部門で説明させていただきましたが、学校部活動の地域移行ですね。地域の方に担っていただきたいということで動いているところですが、総合型ということで自分たちの活動を盛り上げながら、育成を含む、総合的といった広い意味のクラブの立ち上げを推進していきたいところです。

子どもだけでなく、全体的な人口が減少すればスポーツ人口も減っていきます。部活動の地域移行にしても、新たなクラブ立ち上げというのはかなり課題も多く、難しいところではあるのですが、その場面場面でできることを考え、団体が立ち上がることを支援しながら推進していきたいと思います。

議長 ほか、ございませんか。

委員 15 ページの主要事業の学校評価・学校評議員制度のことですが、香取市内でも学校運営協議会が3つほど立ち上がり、学校評議委員制度から変わってきて良かった点・悪かった点を教えてください。

学校教育課長 学校運営協議会は今年からスタートしましたが、学校教員に主体的に見てくださいということで、地域の声をより反映してい

こうという意識が学校側に芽生えてきたところですが。コロナが少し落ち着いてきたことも追い風になっていて、学校を活性化していこうという、本来の目的の部分にプラスに働いているところが変えて良かったと感じます。実践校を広げたいという思いになっているのが大きなところでしょうか。

委員 比べてはいけないのですが、全国的に見て、香取市は学校と地域は近い関係にあるところが多いのでしょうか。

学校教育課長 地域性としては親和性が高いと思います。

委員 もともと声は届いていたかと思うのですが、より届くようになったということですね。

25 ページ、(1)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進ですが、香取市の独自というか、特化しているのは水上スポーツが盛んですと取り上げていますが、子どもたちにアンケートを取ると、弓道やアーチェリーが人気あると、何年か前からアンケート結果が出ているのですが、そういったものはいかがでしょう。レガッタとかは関東・全国に行きやすいところはあると思いますが。アーチェリーの施設はありませんが弓道場があるので、そういったものを活用していただけないでしょうか。

生涯学習課副参事 この前のアンケートでも、弓道をやってみたいという意見を結構いただいてました。市の方では毎年夏場になりますが、香取神宮の弓道場を会場に、体験の弓道教室を開催しています。高校生以上を想定していますが、大人だけでなく、問い合わせをいただいたうえで保護者と一緒に参加された中学生もいました。会場は香取神宮の弓道場しかない状態です。

委員 中学生からでよいと思います。

生涯学習課副参事 スポーツ協会の方には弓道協会や弓道部会がありますので、そこを主体に活動をしているので、そういった団体呼び込みながら教室を行っている状況ではあります。

委員 実は子どもたちに人気があるのですよ、とお示しすることで、広め方も変わってくるのではないのでしょうか。

教育長 高校の一日入学の際に、弓道の体験をさせてもらうとかも考

えられますね。

議長

他にどうでしょう。よろしいですか。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

市民のニーズに応えながら、推進してまいりたいと思います。委員の皆さまには、今後とも教育行政の推進にご尽力を賜りたいと存じます。

それでは、事務局へ進行をお返しします。

9 その他

教育総務課長

次にその他ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

10 閉会

教育総務課長

ないようでしたら、以上で総合教育会議を閉会といたします。お疲れ様でございました。ありがとうございました。